

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 小林 壮行

1 第28回愛知県支部連合会総会を開催

令和4年2月13日（日）に、支部長、指導員等36名の参加により、第28回愛知県支部連合会総会を開催いたしました。平成7年2月に初めての総会を開催して以来28回目となりました。

従来は支部対抗戦等の実施日に合わせて、また懇親を深める意味合いもあって、支部対抗戦等開催の夕方に懇親会を兼ねて実施してまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染状況を考慮し、2回続けての総会の開催のみということで、名古屋市栄の愛旅連



ビル会議室にて午前10時30分から午前11時10分まで開催いたしました。開催にあたっては、参加者の検温の実施、手の消毒等の徹底など感染防止対策を実施いたしました。

総会では、「2021年の活動のまとめ及び2022年の課題」、「2021年度会計報告及び2022年度予算（案）」、「役員体制について」を主な議題といたしました。

（※総会での主な配付資料は、東海普及連合会HPにも掲載してありますので、ご参照ください。）

また、中山則男日本将棋連盟東海普及連合会事務局長から来賓あいさつをいただきました。

議題についてはそれぞれ説明の後、質疑応答を経て、参加者の皆様のご承認をいただきました。

役員体制については、今回は改選時期にはあたりませんが、会計として新たに高津章（愛知県庁支部）を選任いたしました。

なお、質疑応答では、「小学校での指導状況について」、「指導員の活動状況」などについての質問が出されました。

改めての状況説明になりますが、将棋の普及発展の根本的取組は、平成23年4月に公益社団法人として体制を整えた「公益社団法人日本将棋連盟」（以下「本連盟」と記載します。）が担っています。

そして、各地域での普及活動の基礎となるのが、支部であり、本連盟として支部組織の拡充・支援に努めています。また、支部は、本連盟及び当該地域の支部連合会と協力して普及活動を行うこととされています。

愛知県支部連合会は、愛知県内の支部と連携しつつ、本連盟と緊密な連絡を保ち、支部の普及活動及び将棋指導員の普及活動の下支えの役割を担っています。

また、東海地域に在住する棋士を中心とする日本将棋連盟東海普及連合会（会長：大村和久九段、事務局長：中山則男六段）の指導・連携のもと、岐阜県及び三重県の支部連合会とも連携協力して東海地域の将棋の普及発展に取り組んでいます。

現在、38支部約1200名の支部会員、187名の将棋普及指導員を擁する愛知県支

部連合会ですが、平成7年の時点では、13支部約200名の支部会員、数名の指導員という状況でありました。

その後、「愛知県内子供がどこに住んでいても将棋が学べる環境の整備」を目標に掲げ、着実かつ継続的な取組みを通じて、普及活動の展開を進めてきました。現在では、全国でも有数の将棋普及活動の先進県となったところであり、指導員の総数は県レベルで全国一という状況になっております。

支部の状況ですが、昨年は、新たに尾張北支部、弥富通子ども将棋教室支部が設立されました。

現在は、新型コロナウイルス感染という厳しい情勢が続いておりますが、感染防止対策を徹底した上で、できる範囲で無理のない取組みを進めていくこととなります。そうした中、いつでも大会等を実施・再開できるような態勢を講じていく必要がありますが、実施内容については新たな生活環境様式という視点を考慮していくこととなります。オンラインでの対局、指導ということも現実に実施されてきています。

引き続き、関係の皆様と連携・協力して、将棋の普及活動に取り組んでまいりますので、愛知県支部連合会の取組にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2 公文杯第47回小学生将棋名人戦愛知県大会が開催

令和4年2月23日（水・祝）、名古屋港湾会館にて、公文杯第47回小学生将棋名人戦愛知県大会が開催されました。

当日は、公文杯第47回小学生将棋名人戦の東日本大会への代表者を決定する愛知県大会と、交流将棋大会（高学年の部・低学年の部）が開催されました。

また、服部慎一郎四段が審判長として出席され、指導対局も実施しました。

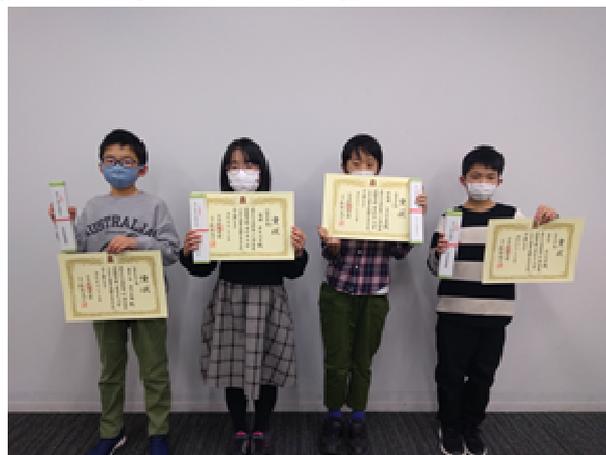
愛知県大会では、70名が参加し、午前中は3～4名の予選リーグ戦を行い、2勝通過、2敗失格ということで午後決勝トーナメントを実施しました。

優勝者は、華房永茉（名古屋市なごや小4）で、3月27日（日）東京「綿商会館」で開催される東日本大会へ愛知県代表として出場します。更なる活躍を祈念いたします。

同時に開催の交流将棋大会では、高学年の部に8名、低学年の部に36名が参加しました。

また、服部慎一郎四段の指導対局には35名が参加しました。

大会結果は次のとおりです。



	優勝	準優勝	第三位	第四位
名人戦 70名	華房 永茉 (名古屋市なごや小4)	市村 嘉規 (名古屋市東桜小5)	清水 太陽 (みよし市三好丘小5)	田代 悠晴 (岡崎市岡崎小5)
高学年 8名	山田 行人 (伊勢市厚生小5)	服部 広大 (春日井市丸田小6)	林 勇颯 (豊明市栄小6)	安田 英徳 (名古屋市富士見台小4)
低学年 36名	山本 和佐 (刈谷市双葉小3)	石原 想大 (刈谷市小高原小2)	成田 晴岳 (東浦市片葩小1)	下村 悠 (常滑市西小2)

3 第51回全国支部将棋対抗戦・名人戦、第29回全国シニア将棋名人戦の愛知県大会を開催

令和4年2月6日（日）に、第51回全国支部将棋対抗戦・名人戦、第29回全国シニア将棋名人戦の愛知県大会を開催しました。あわせて、一般戦A（段位者）・一般戦B（級位者）、早指しトーナメントを実施しました。参加状況は次のとおりです。

支部対抗戦＝20チーム、支部名人戦＝8名、シニア名人戦＝9名、一般戦A（段位者）＝4名、一般戦B（級位者）＝7名、早指しトーナメント＝7名

全体として、新型コロナウイルス感染状況や当日は雪がちらつく状況もあって、参加者が少ない結果となりました。

支部対抗戦では豊田けやき支部、支部名人戦では杉野友輔さん、シニア名人戦では谷畑安彦さんが優勝しました。

また、支部名人戦等の西日本地区大会は、令和4年4月23日（土）・24日（日）に神戸市内で開催予定です。代表の皆さんのご活躍を祈念します。



	優勝	準優勝	第三位
支部対抗戦 20チーム	豊田けやき 片野田智也 村上 周平 乳井 謙太	名古屋と金クラブC 清水 太陽 小原 晃生 加納 歩人	春日井 田中 勇人 岡田 靖令 六車 友
支部名人戦 8名	杉野 友輔 (名古屋創龍会)	竹川 和 (栄将棋教室)	畠山 大樹 (個人会員)
シニア名人戦 9名	谷畑 安彦 (名古屋)	葛谷 郁夫 (尾張一宮)	加藤 文彰 (豊田けやき)
一般戦A 4名	高橋 寛文 (大府市)	土屋 正登 (名古屋市中村区)	栗本 弘毅 (大府小5年)
一般戦B 7名	高原 歩夢 (大府中1年)	山本 怜奈 (大府小3年)	栗本 謙仁 (大府小3年)
早指し戦 7名	鈴木 正三 (安城市)	倉田 政憲 (安城市)	丹羽 拓郎 (名古屋市熱田区)

4 藤井聡太四冠（竜王・王位・叡王・棋聖）、王将奪取により最年少五冠を達成

藤井聡太四冠（竜王・王位・叡王・棋聖）が令和4年2月12日、東京都立川市で行われた「第71期王将戦」第4局で、渡辺明三冠（名人・棋王・王将）に勝利し、19歳6か月で最年少4冠を達成しました。

渡辺三冠の先手番で矢倉の戦型となりましたが、藤井四冠は分厚い陣形を築いて盤上を制圧し、渡辺三冠の攻めを封じて、114手で勝利し、四連勝のストレートで王将のタイトルを奪取。史上初の十代での五冠を達成しました。

藤井五冠は、翌日の記者会見で、現在の立ち位置は富士山の何合目あたりかという質問に対し「頂上が見えないという点では森林限界の手前というか、まだまだ上の方には行っていない」旨を回答しましたが、「森林限界」という言葉がネットでも大いに飛び交う状

況となりました。

将棋界の五冠は4人目で、19歳6か月での達成は、羽生善治九段が保持してきた最年少記録（22歳10か月）を大幅に更新しました。

今後は、いよいよ全8冠達成も現実味を帯びてくるのではという声も多く寄せられています。まだまだ、順位戦A級への昇級などハードルがいくつかありますが、藤井五冠なら、全八冠制覇を果たすのではないかという期待がますます高まっています。

引き続き、地元一体となって応援していきたいと思えます。

【将棋界の歴代五冠】

	棋士名	達成時年齢	達成年月日
1	藤井 聡太	19歳6か月	2022年2月12日
2	羽生 善治	22歳10か月	1993年8月18日
3	中原 誠	30歳5か月	1978年2月6日
4	大山 康晴	39歳10か月	1963年2月2日

5 令和3年度将棋指導者講習会（名古屋）が開催

令和4年2月13日（日）午後1時30分から午後4時30分まで、愛旅連ビル会議室にて令和3年度将棋指導者講習会（名古屋）が開催されました。

当日は、日本将棋連盟から、杉本昌隆八段、安用寺孝功七段、中村紀子普及部兼メディア部副部長、宮川彩乃普及担当が出席しました。

今回は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、主として将棋指導員希望者等に限定して16名の参加者で開催しました。また、受付での検温、手の消毒の徹底など、感染対策の徹底を図った上で開催いたしました。

講習会の日程等は次のとおりです。

挨拶 杉本昌隆八段

講義① 杉本昌隆八段による入門・初心者指導法講座

講義② 安用寺孝功七段による駒落ち定跡講座（初心者指導法講座）

講義③ 竹内努棋道師範による指導員体験談

以上のほか、質疑応答が随時されました。

今後は、4月3日（日）に桜華会館で開催予定の将棋指導員資格審査に向けての対応を進めていくこととなります。



6 名古屋の鶴舞地区で「将棋」がより身近なものに！



名古屋市の中心部、鶴舞小学校（写真左）に2021年10月に将棋部が誕生しました。4年以上の部員8名と将棋指導員3名で毎週木曜午後に活動しています。

さらに2022年春、名古屋市市公会堂（写真右）に2つの将棋教室が誕生します。どちらも毎月第2、第4日曜、第二集会室で開催されます。

- ・午前開催「名古屋鶴舞ジュニア将棋教室」（責任者 柳瀬章雅 名古屋鶴舞インターナショナル支部 設立申請中 <https://nagoyaint.jimdofree.com/>)

予約制で老若男女問わず、気軽に参加できる自由参加型の教室・支部です。

- ・午後開催「つるまいこども将棋教室」（責任者 鬼頭孝生 名古屋支部）は既に他地区で多くの実績のある教室で中学生以下が対象者です。

なお名古屋鶴舞ジュニア将棋教室では、オープニングスタッフを募集しています。詳細は上記URLをご覧ください。

将棋普及指導員（鶴舞小将棋部主任指導者） 柳瀬章雅

7 春休みこども将棋講座〈Sクラス〉

- (1) と き 令和4年3月28日(月)・29日(火) PM0:00～PM6:00
- (2) と ころ 愛旅連ビル3階会議室（栄将棋教室向側）
- (3) 講 師 竹内貴浩四段 佐々木勇氣七段 鈴木肇
- (4) 対 象 者 奨励会、研修会等を目標とする小中高生
- (5) 定 員 50名（先着順）
- (6) 参 加 費 10,000円
- (7) 申込方法 ①氏名（ふりがな）、②学校・学年、③住所・電話番号をメールで kartracer@pdx.ne.jpまで
- (8) 主 催 栄将棋教室
- (9) 問 合 せ 棋道師範 竹内努 電話070-5642-6943

【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の行事の日程】

1. 3月28日(月)・29日(火) 春休みこども将棋講座〈Sクラス〉
2. 4月3日(日) 将棋指導員資格審査
3. 5月1日(日) 第21回全国小学生倉敷王将戦愛知県大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会のサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp/>) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp